

とちコミ SDGs通信

隔月刊

とちぎコミュニティ基金 =
栃木の持続可能性を創る
インフラ

2021/8/15 vol. 249



とちぎコミュニティ基金

2 飢餓を
ゼロに



■お題■

2F

●イラスト/菊池洋勝●コロナウイルスが形を変えて感染力を強める中でオリパラはセットで行われる腹積りで進む。コロナ禍で政治は益益遠くなり政治屋の思惑に嵌りそう。与党は任期が終る総裁選、衆院選を待ち構えている。酸いも甘いも知っている幹事長の動きが台風の目だ。弱い者は自分の身は自分で守る垂直避難しかない。一煮沸消毒の器具かな
秋隣 洋勝一 webhero@hotmail.com



特集

■「SDGs時評+V時評」FAO報告書から「飢餓」を読む ■ p.2: 藤咲健司

●アジア学院行ってみた記 ● p.3: 藤倉理子

●日本の農業の持続可能性(後継者がいない)をどうするか ● p.5-7: 矢野正広

- ★しみん情報玉手箱 ● p.7: 新聞切り抜き隊/鈴木和子
- ★しみん文庫 ● p.9: 白崎一裕
- ★みんながけっぷちラジオ ● p.10-12: ①小浜佳慶 ②田中悠斗 ③佐藤里奈 ④伊東由晃
- ★次世代に伝える。原発避難10年目ラジオ ● p.13
- 櫻井脩弥 ● とちコミ通信 遺贈寄付 ● SDG 2 佐賀水害の募金 / コロナ・NEWS ● p.14-15
- ★気になること ● の人・SDGs社長編57 (増尚恵さん) ● p.16



とちぎボランティア
ネットワーク

TOCHIGI VOLUNTEER NETWORK

認定NPO法人
とちぎボランティアネットワーク
TEL028-622-0021
FAX/028-623-6036
URL tochigivnet.com
栃木県宇都宮市埴田 2-5-1
共生ビル 3階



国連食糧農業機関 / FAO :
「世界の食料安全保障と栄
養の現状 2020 報告」よりFAOレポートから世界の「飢餓ゼロ」への道筋を読み解く
飢餓。日本の貢献は、まず
“国内農業で食える”こと。

●藤咲 健司

(休眠預金担当職員)

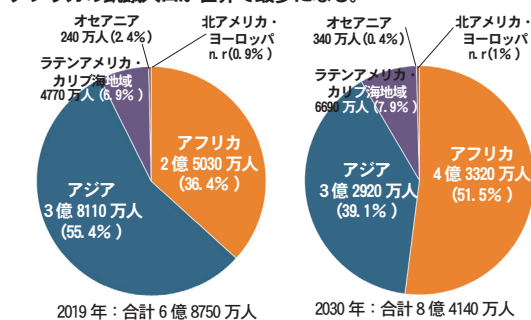
世界の
食料飢餓人口 6.9 億、
食料アクセス欠ける 20 億人

FAO報告書の第1部「2020年における世界の食料安全保障と栄養」で、飢餓人口は6.9億人（世界人口78億人の8.9%）、過去5年で6,000万人増加。重度の食料不安状態の人は7.5億人（世界の10%）となっている。FAOは世界で20億人が安全で十分な量の食料入手ができていないと指摘する。背景には紛争の増加や、地球温暖化による気候変動、自然災害、経済低迷、コロナ禍におけるパンデミックなどがある。SDGsの目標「2030年飢餓ゼロ」にはほど遠く、これが続けば2030年には8.4億人が飢餓状況に陥るともいう。

「食料へのアクセス」では、低所得国はデンプン質の主食作物への依存が大きく、果実・野菜・動物性食品の消費が少ない。つまり十分な量を得られるのは上位の中所得国以上のみである。

「入手できる食料のレベル」はエネルギー量を満たすだけの食事（デンプン質）を「1」とすると、「栄養的に十分な食事」は3.5倍のコスト、さらに「健康的な食事」（果物・野菜・動物性たんぱく質を豊富に含む）には5倍のコストがかかる。これは「1日1.9ドル未満の国際貧困ライン」には手が届かない。FAOは30億人以上が経済的要因で「栄養的に十分な食事、健康的な食事」にアクセスできないという。特にサハラ以南アフリカと南アジアでは57%以上の人が経済的理由で「健康的な食事」にアクセスできていない。

近年の傾向が続けば、世界の飢餓の地理的分布が大幅に変化し、アフリカの飢餓人口が世界で最多になる。

負の
コスト “飽食”による隠れたコスト
「健康コスト」「CO₂排出コスト」

①健康コスト：現行の（飽食の）食料消費パターンでは健康維持に使うコストは年1.3兆ドルかかるが、「健康的な食事」でこのコストは97%抑制できる（390億ドル）。

②CO₂等排出コスト：食品の生産・加工・流通などで発生する温室効果ガス（CO₂、メタン）のコストは年1.7兆ドル。これも「健康的な食事」により40～70%の抑制効果がある。現行のフードシステム（遠距離の生産・輸送）や消費パターンが、環境負荷・気候変動の駆動因

となっており、将来への最大のコスト押し上げ要因だ。ここが改善されれば他のSDGs（3.健康 13.気候変動など）達成への相乗効果も大となる。以上がFAOの現状報告だ。

次からは、2030までの取り組みも提言している。抜粋する。

改革 全ての人に「健康的な食事」を入手可能な価格で…フードシステムの変革

「健康的な食事」への経済的アクセスには、①栄養のある食料の価格抑制に向けた政策や投資、②健康的な食事の「経済的な入手しやすさ」の改善に向けた消費者政策、③健康的な食生活の促進に向けた補完的政策が必要、とFAOは言う。

具体的には、○フードシステムに従事する弱者（＝小規模・家族経営農家等）への適正な分配、○営農システムの多様化、○サプライチェーン、輸送インフラ・鮮度保持への投資と再構築、○消費者需要の志向転換＝「低栄養・高カロリー食品」の志向を変える、○収量増加へのイノベーション（IT・AI等）の積極活用、○栄養に配慮した生産へ（デンプン質主作物からの転換へ）に向けた政策、などを地域の実情にあわせてきめ細かくプログラム化することを求めている。

ここでも、当然ながらトレードオフがない（独り勝ちしない）ような達成を目指すため、トランスフォーム（形がすっかり変わる）を求めるSDGsのメッセージがある。

さらには食環境づくり促進、高カロリー食品への課税措置、食品産業への大規模投資やマーケティングへの規制、栄養教育、フードロス削減促進政策まで突っ込んだ提言もあり、しなやかに持続可能なものにするための様々な変革が求められている。

国内
農業

日本農業は10年持たない。「農家に全ての盾を押しつける私たち」と認識しよう。

日本の農業の持続可能性は「後継者がいない」「小規模・家族農業が持たない」という最大の危機に陥っている。理由は「食えない」から。後継者の見通し「ほぼ0」の今、10年後、農家の半数は高齢化とともに営農をやめ、耕作放棄。そして一部の大規模農家に集約というのが実感であろう。日本の食糧自給率はカロリーベースで38%、生産額ベースで66%。どちらの指標も「やばい」のだが、10年後にはこれが半分近くに落ち込むことも想定できる。

SDGs達成とはまず、日本の農業そのものの持続可能性を見出すことだ。10年前の民主党「農家個人所得補償政策」も立ち消えになり、一方でTPPも始まり、国際的な価格競争に晒される日本農業。一部の人（農家・農業）に全ての矛盾を押しつけているのが今の私たち（非農家）なのだ。ここ栃木の農業の「ローカルな現場」から何をするのか。この特集では、農家の苦境と一縷の可能性を探る。

SDGs ② 飢餓をゼロに

— 栃木版特集 —

2 飢餓を
ゼロに



▼日本で「飢餓」はない。でも食糧生産＝農業・漁業の持続可能性とおきかえたら「危機は目前」だった。FAO報告書の通り、世界の飢餓をなくす日本の貢献は①国内農業の保護、②外国から食糧買わない、つまり「自給力向上と地産地消」なのだ。▼特集では、県内の有機栽培農家に後継者いない日本農業の持続可能性についてと、西那須野にあるアジア学院に海外の農業とコミュニティの問題を取材した。



大谷さん

マノシさん

ザ☆夏日！ アジア学院 半日体験ルポ

藤倉理子 (宇大4年・uu-ye!! 編集長)

「2 飢餓をゼロに」は私たちにとって馴染みのない指標だ。しかし、日本も決して無視できない食糧自給率の低さや相対的貧困率の高さや農家の高齢化がある。そこで栃木県那須塩原市にあるアジア学院を訪問し、持続可能とは何なのか、そして日本から、栃木から「2 飢餓をゼロに」を身近にするヒントを探しに行った。

今日がクライマックスらしい。土の香りと青空と牛の鳴き声が心に染みる。

15:15 パーティシパント4人の発表が終了。オーディエンスの質問やフィードバックも質が高くアジア学院の真の強さを見た気がした。

15:20 帰りの電車までもう少し取材を重ねる。

15:40 帰路に着く。久しぶりに浴びた灼熱の太陽と濃すぎる体験は、ライター以前に、社会で生きる人間としての私に「共に生きる」ことを教えてくれた。

★突然、英語で自己紹介

8:50 宇都宮駅から西那須野駅へ出発。どんな話が聞けるか楽しみだ。

10:00 朝礼の終わり際にギリギリ到着！ 突然の英語での自己紹介に1日が思いやられる。

10:20 器具の準備をし、ニンジンの種まきの方法のレクチャーを受け、いざニンジン畑へ。今日はザ・夏☆な天候なので水分補給は念入りに。

10:25 農作業体験開始。ニンジンの種まきは

12:20 午前の作業が終わって昼食タイム。みんなが食事前に讃美歌を歌い始めたので驚いたが、そのハーモニーの美しさにさらに驚いた。ワンプレートカオスご飯は私の大好物。取材をしながら外でいただく。ヤギミルクの甘さに感動。

★灼熱の太陽から「共に生きる」を教わった

13:30 パーティシパント(参加者)のプレゼンテーションの授業。「アジア学院での最大の学び」についてキーワードを提示しながら英語で発表する。どこでも再現できるように、PCプロジェクター使用禁止。資料はカレンダーの裏紙に描いたポスター、そして原稿を読まないことがアジア学院のポリシー。

平和とはヒト・モノ・コトが近く、分かち合えること

今回話を聞いたのは、アジア学院のスタッフである大谷さんとマノシさん。アジア学園のミッションである「共に生きるために」は、どの質問をとっても共有されている信念であった。アジア学院が目指す平和とは、ヒト・モノ・コトが近く、分かち合えることだとマノシさんは語る。これが循環型社会、ひいては持続可能な社会に繋がる。現状、ネット社会によってあらゆるものが近くなったが、ある意味リアルが遠



「プレゼンテーション」の授業。PC禁止、キーワードを提示しながら英語で発表する。



讚美歌歌って昼食。ワンプレートカオスご飯

くなったともいえる。私たちは、今日食べた食事がどのように生産され届いたかを知らないし考えない。

平和的「近さ」。学院内で自給する循環型農業

一方、アジア学院では95%以上を自給自足している。昼食を食べる時に、「この豚も、野菜も、ハーブもアジア学院で育てたんだよ。肥料も学院内で出た残飯を堆肥にして使うからうちはほとんどゴミが出ない。」と大谷さんが説明してくれた。直径数キロ内で目の前にいる人たちが育てたものがこうして自分の身体に入って来ることを体験し、平和的「近さ」を実感した。私が今日植えたニンジンも数ヶ月後、だれかの食事となりだれかのエネルギーになる。モノだけではない。コトもヒトも循環している。目の前にいる可愛いヤギをいつかは食べる。情報は共有する。困っている人がいたら助ける。全てつながっているのだ。これが目指すべき循環型社会。それを成し遂げるために必要なことが、イエス・キリストを模範としたサーバント・リーダーシップ（仕える指導者）という考え方である。

農村リーダー育成。9か月・農業・畜産・コミュニティづくりを共に学ぶ。

アジア学院では、農村指導者の育成を行っている。農業を専門に学ぶことが目的なのではなくリーダーの育成の手段として農業があるという位置付けた。スタッフも

一緒に作業しお互いに学び合う精神から、学生はパーティシパント＝参加者と呼ばれる。彼らは、他者に仕えるために働き、とりわけ最も必要で、最も人が嫌がる仕事を進んで行うサーバント・リーダーの役割をそれぞれのコミュニティに戻って実践できるように9か月間、アジア学院で自給自足の寮生活を送りながら学ぶ。農業や畜産の技術やコミュニティづくり、その他様々な専門分野を勉強する。

資源の少ない地域でも。循環型・有機栽培

アジア・アフリカの、教会や教育グループ、NGOなどの団体が農村指導者を推薦し、アジア学院は候補者を選考し、受け入れる。現在は、外国からの渡航ができないため、日本人学生と在日外国人の4人が本科生として学んでいる。大学を卒業してすぐにボランティアとして入った人や、仕事を辞めて入学した人など経歴は様々だ。

この多様性の中でのアクティブラーニングが、新しい知識や価値観、技術などに対する変化を大きくしている。資源の少ない地域でも再現できるように、道具や化学肥料はできるだけ使わず、もみガラや糞、残飯などを利用した循環可能な農業を学んで帰る。アジアの農村部はモノカルチャーであることが多く、非常事態があったときに困る。色々な種類を栽培し、地域内で補える体制を作る必要がある。これは日本も例外ではない。

食料自給率とコロナから見る日本の飢餓

「日本で飢餓は他人事」。「アフリカの問題?」。本当にそうだろうか。日本の食糧自給率カロリーベースは38%（生産額ベース66%）。日本の相対的貧困率は15.4%。日本の農業就業者の平均年齢66歳。

日本の飢餓は決して他人事ではないし、遠い未来の話でもない。新型コロナウイルスの脅威により、ロックダウンを行う都市が見られたが、いま日本の首都圏がロックダウンしたら、はたまた、世界の貿易システムに異常事態が起こったら日本の食生活は確実に変化する。皮肉にも、コロナ禍によって当たり前がなくなる想像はしやすくなっただろう。

そこで私たちがアジア学院から学べることは、もっと「近く」でものごとを循環させることではないだろうか。同じ町内に住んでいる人のこともよく知らずに、食べているものがどこから来ているかも知らずに生活することが普通になってしまえば、日本の食糧危機ももうすぐかもしれない。

「ニワトリに脚4本」描く子。生活と生産が分断

アジア学院では地域にも積極的に食の大切さをアプローチしている。まず、「知る」ということが第一歩である。キャンパスツアー、講演会、短期間プログラム、農産物販売、フードバンクなどの活動を行い、食に興味を持ってもらうイベントを行なって

いる。まず自分の周りで物事が循環する実感をしてみると、普段の食事や食育、行動にも気を使えるようになる。キャンパスツアーに来た子どもたちに絵を描かせると平気でニワトリに脚を4本描く。生活と生産が切り離されている証拠だ。自分の生活が、

巡り巡って自分の身体に戻って来る実感が湧けば、おのずと食への興味や感謝が湧くはずだ。

私たちがいますぐ実践できることはなんだろうか。マノさんが勧めるのは、何かを育ててみる。食べられるものなら食

の過程やありがたみも分かる。もし沢山できたら、ご近所さんにお裾分けしてみよう。自分が何をシェアできるか考えれば、意外と近いつながりは難しくない。

(アジア学院●那須塩原市槻沢 442-1 ●電話 0287-36-3111)

食べ物作ってるのに「食えない農業」という矛盾。

—有機栽培 34年・ベジファーム中屋さんに聞く—

☆インタビュー：矢野正広（Vネット職員）



奥：中屋さん、手前は後継倉岡さん。作るだけじゃなく出荷の個別配送の管理、入金確認、作付計画もする。

■ 34年前に壬生町に新規就農した(株)ベジファームの中屋末人さん(72)に、農業の持続可能性(後継者問題)について聞いた。有機栽培で野菜の少量多品目生産、個人やレストランに300件に個配している。働く人は専従4人・パート・アルバイト・その他で8人位だ。

● (矢野) 日本農業は最大の危機かも…。後継者いないのが最大の問題では？—

中：後継者がいないのは、稼げないから。大儲けするレベルじゃなくてこれだけ働いても「食えない」というのが問題。自分の代までと思って皆やめていく。新規参入がない。

● 普通の産業では、やめると新規参入の両方があるのが健全だと思いますが—

中：うちは(野菜の有機栽培の)研修生がこれまで15人位いたかな。1、2年で自立して行くんだけど、みんな畑作農家になる。でもコメ農家の新規参入の研修は、民間でやっているのは稲葉さんのところ(NPO民間稲作研究所/上三川で有機無農薬米を栽培)だけだろうね。普通の個人農家は子どもが継ぐのが前提なので新規参入は受けない。よそ者を受け入れる発想がない。さらに(運よく田んぼが手に入っても)、コメ農家の独立には、耕作機械・設備の初期投資がかかる。最低でも1000万円かな。世襲じゃないと機械・設備代が払えない。土地も売買には農業委員会の許可がいる。新規参入は農地取得のハードルが高いので、多くは農地の貸し借りだね。今は農家だけ耕作していない所も多いな。

● ということは有機栽培の農家しか就業促進をしていない。そして先祖代々農家が代替わりで離農。「構造的に減る」ようになってますね。サラリーマンだって農業に転向したい人いるのにもったいない—

中：田は余っているし、まだ、それなりにできるんだよ。2つの営農形態があって①兼業で休日農業。これがやれなくなると、拡

大意欲のある②大規模農家に耕作依頼。10町とか100町とかやる農家もある(1反10a、1町100a=100m×100m)。専従一人で10町はできるが、それでも奥さんの手を借りないとむり、一人っきりで農業はできないよ。10町やって「食える農業」になる。儲かる仕事じゃない。

※10町の収支：①収入は米価1俵60kg 1.4万円として、反収8俵で11.2万円=10町で1120万円。②支出：人件費400万、設備3000万の10年償却で返済年300万、機械・車メンテナンス100万、資材・苗・肥料・農薬100万で900万の経費。③収支残は200万円かな。奥さんの手間入れてないけど、これでやっと収支トントンの「食える農業」。でも田んぼが10町まとまっていることはないの、バラバラで細かかったら、機械の移動で耕作の手間はどんどん増えるね。(藤田三夫さん談：元農機具会社勤務)

● でも大規模化は条件のいい所しかできませんよね。中山間地で傾斜地、田畑が細かい所、水田単作で消費地から離れている地方は耕作放棄ですか？—

中：そう、全部できない。SDGs達成どころではなく日本の食料自給がもっと減る。でも田んぼより畑の方が耕作放棄が多いんだよね。野菜の作りまわしは作業が細かく手間がかかるので大規模化できない。施設農業じゃないとね。

この地区(壬生町上田)は世帯数170軒。うち、農家は100軒、100軒中専業14軒(個人12、法人2)だ。14軒のうち後継者いない(廃業予定)は3軒。14軒のうち果樹・ニラ・トマトなど施設農業6軒だ。10年後は兼業も廃業していき、専業も法人じゃないともたないだろう。施設農業が半分というのは消費地が近くにあるからできる。栃木は、条件はいいよ。うちは15年前に研修生2人が「ここを継ぐ」と言うから、家族経営から会社形式にしたんだけど、実際に自分の子は継いでいないし、多くの農家が専業で

2020 飢餓マップ

①黒 (35%以上) ■南
アメリカ:ハイチ ■ア
フリカ:チャド、リベリ
ア、マダガスカル、ルワ
ンダ ■アジア:北朝鮮

②濃い灰色 (25 ~
34.9%) ■南アメリカ:
ベネズエラ ■アフリカ:
シエラレオネ、コンゴ共
和国、タンザニア、モザ
ンビーク、レソト ■ア
ジア:アフガニスタン、
東ティモール

③ちょっと濃い灰色 (15 ~ 24.9%)

ボリビア、ホンジュラス、モンゴル、イラクなど

④灰色 (5 ~ 14.9%) パラグアイ、ペルー、コロ
ンビア、メキシコ、インド、タイ、インドネシアなど

⑤薄い灰色 (2.5 ~ 5%) チリ、アルゼンチン、イ
ラン、サウジ、エジプトなど

⑥横線 (不明) リビア、南スーダン、コンゴなど

⑦白 (2.5%以下) ■南アメリカ:ブラジル、ウルグアイ ■アメリカ:アメリカ合衆国、キューバ、カナダ ■ヨーロッパ:ポルトガル、スペイン、フランス、モナコ、アントラ、パチカン、イタリア、スイス、ルクセンブルク、リヒデンシュタイン、ベルギー、オランダ、イギリス、アイルランド、デンマーク、オランダ、チェコ、ハンガリー、クロアチア、ボスニアヘルツェゴビナ、モンテネグロ、ギリシャ、ポーランド、ロシア、リトアニア、ラトビア、エストニア、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー ■アフリカ:チュニジア ■アジア:ガザ地区、クウェート、トルコ、カザフスタン、ロシア、中国、アゼルバイジャン、韓国、日本 ■オセアニア:オーストラリア、ニュージーランド

●栄養不足とは、個人が「健康な生活をするエネルギー量」に対して「習慣的な食物摂取量が不十分な状態」のこと。指標は、栄養不足蔓延率 (PoU) で「全人口に占める栄養不足の状態にあった人口 (推定) の割合」。出典: 国際連合食糧農業機関 (FAO)、国際農業開発基金 (IFAD)、国連児童基金 (UNICEF)、国連世界食糧計画 (WFP)、世界保健機関 (WHO)。2020 年度版。「世界の食糧安全保障と栄養の現状 2020」。https://www.wfp.org/publications/state-food-security-and-nutrition-world-sofi-report-2020

それなりにやっけていても子どもが他の仕事のほうがいいといえ
それまで。

●国連が「家族農業の 10 年」というのを SDGs の直前までやっ
ていました。小規模農家、家族農業を守るのはどんな意味があるん
でしょう

中: 日本の農業は農地解放からはずっと家族経営だった。でも、新
規参入がむずかしいので (コメは特に) 世代を経るごとに減って
いく構造だ。その極みは今。小規模農家を守るのは、**大土地所有制**
度や、資本力のある企業の農家支配の弊害があるから。つまり
価格競争の元での投機的農業、収奪農業が現にある。結局、売れ
る物、儲かるものしか作らないことになり、これが生産物の低価格
での買取り、労働条件の悪化、貧困化を招く。地力の低下、肥料・
農薬の大量投下もある。「**食べ物作ってるのに食えない**」と
いうおかしな現象が根本問題だね。SDGs で言えば結局「地
産地消」だよ。

●TPP (環太平洋パートナーシップ協定) がはじまって、農産物
が**国際価格に晒されている**。一方で 10 年前に TPP 加入の引換
と減反政策の転換のために導入した「**農業者戸別所得補償保障制
度**」も民主党政権がなくなって立ち消え。**農産物価格と農家保
護**はどうなるんでしょう

中: 「生産者は高く売りたいけど、消費者は安く買いたい」ので、
そこそこ買ってもらえる価格にせざるを得ない。消費者は海外の食
品価格を見ているから結果的に**輸入食品との価格競争**になる。
「足りないなら外国から買えばいい」という人がいるが、これは小
学生の論理。ある意味で「**食うもの**」は**公共の財産**で、**経済
原則にまかせていると絶滅してしまう**。農業は絶滅不可な産
業だよ。

だから「**食べ物には逆ザヤ**」があっけいと思う。昔のコメは政
府買取価格で、市場価格との差が「**利ざやの逆**」で国が補てんして
いた。先進国は食糧安全保障も考え、農家の所得補償をばっちりし

ている。実際、**EU もアメリカも日本の比じゃない補助金**を
出している。アメリカもフランスも食料輸出国、その上での TPP
(多国間貿易) や EPA (経済連携協定) なんだよ。

そうしてみると**日本は貧相だ**。国家は国民を食わす義務があ
る。憲法 25 条の「健康で文化的な生活・・・」だよ。国家として
の意識に欠ける。「**農業をえこひいきしてる**」という視点に
立ってはいけない。

※農業所得に占める公的助成の割合 / 2013: スイス 100%、仏 95%、
英 91%。米 40% = 収支マイナスは全部国が補填する助成で、年によ
って変動する。日本 2011: 15.5%。2016: 30% = 米価下がり収入減で補
助金率高くなった「**悲しい数字**」だ。EU が 90% 以上なので、日本
はダントツに低い。(生活クラブ生協 H P / 鈴木宣弘 / 東京大学大
学院生命研究科教授)

●ところでベジファームのような少量多品目の有機野菜農家は、出
荷、流通、販売も自力でやらなくてはならない。有機なので付加価
値はあるけど**全てを価格転嫁できない**。どうやって**コスト
ダウン**しますか。農業所得保障政策がない今、自衛策もふくめて一

中: 「**ジョイントファーム**」という、企業との連携をはじめた。
社員 100 人位の会社があって、社員の研修と福利厚生のために農場
の一面を貸し出す。設備・苗・耕作・作業指導はベジだが、労力は
会社持ち。定期的に来て作業をする必要がある。**農×社員教育、
農×マネジメント**というのは、会社の働きやすさや社員の成長
を促しているだろう。「**お金でリフレッシュを買う**」のではない方
法。体験・実践を提供するのも有機の魅力だし、持続可能性とつな
がっている。

手間、労力がかかるのを少しでもジョイントできれば、
本体の営農者は生き残れる。サラリーマンが主流の社会なのだから、
今は会社との提携だけど個人もジョイントしていこうかと思
う。

(ベジファーム ●壬生町上田 7-4 ●電話 0282-21-7304)

【長めの取材後記 / 矢野正広】

お金にしない！「現物と交換」 シェアリング農業、入会地農業かも。 —サラリーマンと共生する農業を進める—

持続可能性のヒントは「お金にしない」ことだと思う。物々交換だ。しかし、お金がないと専門家は食えない・・・。

サラリーマンが関わるには、お金じゃなくて「現物で取り替えっこ」すればいいのだ。週休2日のうち1日は専門家の所に畑仕事に行く。リフレッシュするし、スポーツジム代もかからない。1日1500円分位の野菜もらえば十分1週間はおもつ。そして他の農作物はすべて専門家のものにして営農経費（機械代・人件費・・・）にしていく。

実際、定年間際のサラリーマンはもうやることない。しかし農作業、イメージはいいが、自分でやるのは面倒。子どもは育っ

てしまった・・・っていう人がたくさんいるはずだ。

週1日定期的に作業に来てくれるなら労力に換算できる。

これは普通のコメ農家にも応用できる。例えば「1日手伝ってくれたら10kgコメあげます」と物々交換する。サラリーマンは6日の農作業で1年分の米確保だ。一方で専業農家は1俵60kgだから6日分の労力確保。農繁期に定期的に来てもらうように設定するという案はどうか。もし、これをお金で払うと1日の労賃は最賃7200円、1俵1.4万円なので、2日分しか労力確保できない。

農業の問題は労賃の持ち出し（オーバーワーク）を見えない形でしていること。それに対抗するには「お金に換算しない」技だろう。昔の**入会地（いりあいち）**のような農業で、農山村の共有地でそこに生えるキノコ、山菜、カヤ（屋根を葺く）などの林産物は「自分が食べる分（使う分）だけ取っていい」というもの。独占はなし。英語ではコモンズというが、農業というのはそもそも、みんなのもの・コモンズなのではないだろうか。シェアリング・エコノミーとしても**入会地農業**やりたいです。



記事評価

★★★=スゴイ！
★★=良いぞ
★=イイね

虐待少女を緊急保護 ★★

「子どもシェルター オズ」

●虐待で親と暮せない10代後半の少女たちが緊急的に一時避難できる民間施設「子どもシェルター オズ」が群馬県内で初めて開設された。NPO法人子どもシェルターぐんま（前橋市）が運営。施設は児童相談所の一時保護から外れる18～19歳や18歳未満でも一時保護できない15歳程度の少女を短期間保護するのが目的。少女ごとに担当の弁護士が付き、相談や親との交渉などを引き受ける。定員は6人、場所は非公開、無料。問/027-212-6080（平日9～17時）2021/6/7 東京

政府備蓄米提供4倍に。★

子ども食堂360kg、子ども宅食1200kg

●農水省は子どもたちに無料や定額で食事をふるまう「子ども食堂」や「子ども宅食」に無償提供する政府備蓄米の年間上限を、現状の4倍に引き上げると発表した。農水省は実施団体から年1回申請を受け、子ども食堂の最大90kg「子ども宅食」に最大300kgを配っているが、今後は追加枠を設け子ども食堂360kg、子ども宅食1200kgに増やす。（2021/6/12 毎日）

学生生活応援しています！

●道の駅那須与一の郷と「産直会」は国際医療福祉大にコシヒカリ600kgなどを寄贈し

た。国際医療福祉大はコロナ禍でアルバイトや仕送りが減った学生支援のため4月から「学生支援プロジェクト」として食料を提供。道の駅はコメの寄贈を決定。産直会も不織布マスク3400枚や、みそ、タマネギ、キュウリなどを送った。（2021/6/15 下野）

子ども食堂、フードバンクに 野菜や豚肉寄贈

●JAうつのみや青壮部は14日「昭和子ども食堂」に野菜や豚肉を寄贈した。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、子ども食堂関係者を支援するのが目的。黒崎裕史部長（46）は部員9人が栽培したネギ、トマト、大豆、豚肉を手渡した。黒崎部長は「消費者から生産物の反響が聞けるのは貴重な機会、継続的に支援したい」と顔をほころばせた。また、同部は15日、フードバンクうつのみやに米100kgとタマネギを寄贈した。（2021/6/16 下野）

5割引き販売。「みんなが笑顔になる 食品ロス削減ボックス」★

●ネスレ日本（神戸市）は賞味期限間近でスーパーで扱えない商品を専用の無人販売機「みんなが笑顔になる 食品ロス削減ボックス」を函館、名古屋、広島など全国5か所で始めた。最大で小売価格の5割引き、商品の廃棄を避ける。賞味期限が1月前までのチョコレート菓子「キットカット」や「ネスカフェ」のペットボトルコーヒーなどを扱う。（2021/6/18 下野）

貧困家庭支援 地域が協力 鹿沼

●コロナ禍を背景に貧困問題への関心が高まる中、民間の支援が広がっている。宇賀神新聞・鹿沼店は購読者に食品の寄贈を呼びかけた。玄米やレトルト食品など鹿沼で

約200点、宇都宮で約300点が集まりフードバンク宇都宮・鹿沼に寄贈した。また、横山町で子ども食堂を運営する「ノエル」は弁当を提供しているが夏場は中止し、代わりに米や缶詰、カップ麺、生理用品を加えた「きずなセット」を配布する。鹿沼市協会は「地域の協力はフードバンクの充実につながる」と歓迎している。（2021/6/25 下野）

「ひきこもり白書2021」

●引きこもりの当事者や経験者への調査結果を基に実像を探った「ひきこもり白書2021」が出版された。一般社団法人「ひきこもりUx会議」（東京）が19年10月～11月にオンライン上や自治体の協力を得て調査。1686人の回答を分析した。当事者団体では初の試みで、46万字に及ぶ自由記述からは、取り巻く事情や困りごとの多様性がある。引きこもりは就学や就労で解決すると思われがちだが、①約26%が断続的に経験 ②引きこもり状態ではないが、約80%が生きづらさを感じる一と指摘。（2021/7/4 下野）

生理用品無償配布 ★

●県教委は県立高校など73校のトイレに無償で生理用品を置く。学校の保健室にも生理用品は置いてあるが、他県の取り組みを参考にした。費用は県教委の予算で今年度中の実施を予定する。（2021/7/7 毎日）

宇都宮空襲「宵待ち灯ろう」★

●市民グループ「宮灯路プロジェクト」は宇都宮空襲の犠牲者を追悼する「宵待ち灯ろう」を7月12日19-20時、JR宇都宮駅西口付近の田川河川敷で行った。灯籠流しは昨年まで行ってきたが会員の高齢化で中止。鎌田泰二さん（75）が「18回を数えた灯ろう流しのともしびを絶やしたくない」とプロジェ

クトを発足させた。当日はきぶな灯ろうの披露や、横笛奏者の生演奏や「栃木の空襲・戦災を語り継ぐ会」の大野幹夫代表（89）の体験談があった。（2021/7/6 下野）

市が電力会社 ★★ 「宇都宮ライトパワー」

●宇都宮市は地域新電力会社「宇都宮ライトパワー」を設立した。市内のバイオマス発電などで作られた電力を同社が買い取り、市有施設や2023年3月開業予定の次世代型路面電車（LRT）に供給する。再生エネルギーの「地産地消」を推進し、二酸化炭素の排出量削減や地域経済の活性化を目指す。（2021/7/14 毎日）

災害備蓄食に新基準設定し、★ 子ども食堂に提供

●消費者庁が自治体などにある災害用備蓄品のうち、賞味期限を過ぎても食べられると判定した食品に「使用期限」を設定し、子ども食堂などへ提供するモデル事業を始め食品ロス削減を図る。徳島県を中心に四国地方で実施する。事業効果を検証し全国的な展開を検討する。（2021/7/16 サンケイ）

不登校の原因は「学校との相性」

●子どもたちの居場所づくりに取り組むNPO法人キーデザイン（宇都宮市）が、不登校の子の保護者へアンケートしたところ「学校のルールや雰囲気になじめない」ことが不登校に結びついている実態が浮かんだ。保護者も休職・退職など仕事への影響も少なくないことも分かった。「不登校は子どもの問題と捉えがちだが、保護者への影響も大きい。居場所の提供だけでなく、行政等の経済的な支援も必要」と分析する。（2021/7/19 東京）

県教委、フリースクール通う子に ★★ 月1万円補助

●栃木県教委は不登校の児童生徒が学校外の適応指導教室や民間のフリースクールなどに通う場合、交通費と活動費を月最大1万円補助する制度を始めた。2019年度の調査では不登校の児童生徒は小学校900人、中学校2207人の計3107人。20年度の実態調査では、県内に29ヶ所ある市町教委の適応指導教室に258人、民間施設に21か所に42人が通っていることが判明した。県教委は本年度内に民間施設などを交えた連絡協議会を設置し、学校以外での「学びの機会」を確保するという。（2021/7/20 下野）

那須で循環 廃棄野菜を飼料に

●「那須高原りんどう湖ファミリー牧場」とスーパー「ダイユー」は、連携して食品ロス削減を目指す「那須フィールド」に組み

む。ダイユーは廃棄野菜はこれまで農家で肥料にしていたが、牧場の動物の餌として活用し、同一地域で循環するもの。従業員が週2回出勤途中にスーパーにて廃棄野菜を回収する。（2021/7/21 下野）

ルーター無償貸与 宇都宮市教委 ★

●宇都宮市教委は21日、家庭のインターネット通信環境がない市立小中学校の児童生徒にモバイルルーターの無償貸与を始め。希望する4千世帯を対象に貸与、通信費は自己負担、就学援助制度の利用者は無料。既に1人1台配備されている学習用端末のオンライン利用が、夏休み期間中に全ての家庭で可能となる。（2021/7/20 下野）

映画「タネは誰のもの」 改正種苗法の問題点を探る

●昨年末に成立した改正種苗法の問題点を探ったドキュメンタリー映画「タネは誰のもの」が小山市民文化センターで上映された。急速なグローバル化による日本の農業と食料を取り巻く環境の変化に危機感を抱いた市民らの自主上映の輪が広がる。本県では初上映。映画は、元も雨林木産相で弁護士の山田雅彦さんが制作、農業問題の話題作を手掛けている原村正樹監督と協力して作った。（2021/7/23 サンケイ）

「制服バンクおやま」 ★★

●小山市旭地区の民生委員やボランティア6人で構成する「制服バンクおやま」が、市内全域で学用品の募集と販売する制服バンク活動を行っている。2019年に子育て世帯の経済的負担を軽減しようと小山城南中学校区で制服バンクを始め、学校や団体メンバーに寄贈があった学用品を500円～2千円のクリーニング費用のみで販売する。活動の広がりに保管スペースが足りなくなり、市などに相談して調整している。（2021/7/26 下野）

「ヤングケアラー協議会」

LINE相談 ★★★

●那須塩原市の「にしなすのケアネット」内の「ヤングケアラー協議会」は25日までに、無料通信アプリLINE（ライン）を活用した相談窓口を開設した。24時間体制で相談を受け付ける。家族の世話を担う18歳未満の子ども「ヤングケアラー」が全国的に問題になる中、先進的な取り組み。市社協、地域包括などで立ちあげ（<https://line.ee/cUj0nAI>）

平和願いピースロード

●コロナの収束と平和を願い、県内を自転車で走るイベント「ピースロード」が25日、

日光東照宮から栃木県庁までの約40キロで行われた。ピースロードは、世界平和や日韓友好などを目的に平成25年に始まり、各都道府県をリレー形式で走破していたが、コロナ禍のため都道府県毎に開催されている。日韓海底トンネル建設実現のための事業も支援している。（2021/7/26 サンケイ）

宇大生向けサイト uu-yell 創設

●新型コロナ禍でネットが身近な存在になった。一方で、宇都宮大学でも一時は全面オンライン授業。そこで今年3月、学生の交流促進のため宇大生向けのウェブサイト「uu-yell」（ユーユー・エール）を立ち上げた。創設者は藤倉理子さん（地域デザイン科学部4年）。学生5人から始まったが現在は25人。コンテンツは地域活動する学生団体、新生活役立ち情報、健康情報、宇大周辺の飲食店情報など。（2021/7/27 毎日）

宿題 大学生が手伝う 「わんぱく寺子屋」

●JR黒磯駅前の「まちなか交流センター・くるる」で、地元小学生に夏休みの宿題の場を提供する「わんぱく寺子屋」が始まった。黒磯駅前活性化委員会（龍沢資介会長）が10年前から開催。NPO法人地域生活支援センターゆずり葉のメンバーが運営し、大学生などが宿題の手伝いや体験活動をする。（2021/8/4 サンケイ）

マクドナルド・ハウス支援

●小山市中央町のまちかど美術館で、自治医大とちぎ子ども医療センターに入院する子どもと家族のための滞施設「ドナルド・マクドナルド・ハウスとちぎ」を支援するチャリティー展が開かれている。同施設は主に寄付やボランティアで運営されており、コロナ禍でバザーなどが開催できなくなり、資金繰りに苦戦している。昨年に引き続きチャリティー展を企画した。問/0285-21-3381（美術館）（2021/8/5 下野）

「水平リサイクル」率、アルミ缶71%。 ペットと置換え

●飲料容器をペットボトルからアルミ缶へ変える動きが広がる。「無印良品」の梱包計画は全12商品の容器をアルミ缶に変更。同じ製品に繰り返し再生できる「水平リサイクル」比率が24.3%のペットボトルに対し、アルミ缶は71.0%と高く、アルミ缶は遮光性が高く中身が劣化しにくいので、炭酸飲料の賞味期限は90日延び270日になり、食品ロス削減になることも背景にある。ダイードリンコも今年、コーヒーやスポーツ飲料など6商品でアルミ缶を採用し、循環型社会に向けた取り組みの一環とした。（2021/8/7

『世界牛魔人 グローバルミノタウロス』

―米国、欧州、そして世界経済のゆくえ―

●ヤニス・バルファキス／著 早川健治／訳
●那須里山舎 2400円＋税



しみん文庫
評者●白崎一裕 (那須里山舎)

本書も、私の那須里山舎の新刊で恐縮だが、現在の混とんとした世の中を読み解く一冊として紹介する。

著者のヤニス・バルファキスは、きわめてユニークな人物である。アカデミックな経済理論であるゲーム理論の専門家でありながら、2015年のギリシャ金融危機の最中、当時のギリシャ急進左派連合チプラス政権時において財務大臣を務めた。バルファキスは、ギリシャ国民の利益を守るために、理不尽な緊縮政策をおしつけてくるEU中枢の国際債権団（トロイカ）と丁々発止の交渉を担当することとなる。革ジャンにバイク姿で国際交渉にのぞむ、およそ政治家らしからぬバルファキスは、たちまち、ギリシャの救世主的ヒーローとなる。この緊張感あふれる交渉過程は、彼の『黒い匣』（明石書店）に詳しいが、残念ながら

現在は、2008年のリーマン金融危機で破産した金融銀行システムが世界を回している「悲惨」な「テクノ封建主義」時代。「牛魔人」が貪る富の分配装置の再構築（ユニバーサル・ベーシックインカム等）を提唱。

らチプラスの日和見的政治によりバルファキスの努力は挫折することになる。その後、バルファキスは、欧州草の根民主運動のDIEM25のリーダーや、米国上院議員のバーニー・サンダースらと共に創設したプログレッシブ・インターナショナルなどの世界的反緊縮政治・経済運動の立役者として活動している。

本書は、上記のバルファキスの行動を生み出し、支えた政治経済思想の原点ともいえる著作である。

20世紀とは、どんな時代だったのか。よく革命と戦争の世紀と批評されることが多い。たしかに、その側面はあるが、実は、20世紀とは、世界中が「アメリカ化」した世紀ともいえるのである。いわゆる American way of life (大量生産・消費社会) の世紀である。20世紀初頭、カ

リフォルニアを中心とした油田開発による「石油」という資源は、エネルギー収支において「無から有を生み出す夢のエネルギー」として登場した。これがその後のアメリカの資本主義をオイル資本主義として発展させる強力な動因となる。オイル資本主義は、資本主義の発展に新たな段階をもたらしたが、それは、1930年代の「世界恐慌」により大きな混乱をもたらすことになる。「世界恐慌の恐怖」におのくアメリカのエリートたちは、一国内での資本主義市場だけでは、資本主義の安定を保持することはできないと考え、第二次世界大戦後の戦後秩序を、アメリカのドルを中心とした「世界計画法」によって押しすすめることとなる。

これは、アメリカが稼いだドルを世界中に投資循環させて、最終的にアメリカに富が集中するシステムである。だが、「世界計画法」は、再び機能不全をおこす。それは、ベトナム戦争などにより「世界計画法」の過程で、アメリカの富が海外に流失して、いわゆる「双子の赤字」＝「二重赤字」（財政赤字と貿易赤字）が累積することになる。しかし、アメリカは、ドル基軸通貨体制というドルで国際貿易決済がなされるという特権を生かし、赤字であっても、最終的には、やはりアメリカに富が集中する世界金融システムを再創造する。これこそが「世界牛魔人」システムである。牛魔人とは、ギリシャ神話の怪物であるが、すべての富を貢物として食らう牛魔人に、アメリカをなぞらえ、世界中の富が金融の中心地であるニューヨークのウォール街に還流する姿そのものの比喩としたのだ。この結

果、世界経済は、銀行金融によりあぶく銭が増大する「金融経済」と現実的な「実体経済」とに分割されることとなる。この二つの体制のいびつな乖離がもたらした「事件」が2008年のリーマン金融危機なのである。ここで、いったん「世界牛魔人」は死んでしまう。

実は、わたしたちは、その牛魔人なきあとの不安定な経済システムの只中にある。それは、金融資本主義が破産したにもかかわらず、その破産した金融銀行システムが、世界を回している「悲惨」である。これが、世界大の格差社会をもたらす。これが、世界大の富裕層への富の集中をもたらしている。バルファキスは、この社会を、「破産主義社会」および「テクノ封建主義」とよび、この分析なくして、コロナ後の世界経済の展望はないと断言している。

コロナ後の展望とは何か？ それは、この本の付録二編に簡潔にヒントが記載されているが、アメリカが独善的に集中させてきた富を、あらゆる手段を用いて、一般市民に分配する装置を再構築すべきであるという提案である。そのひとは、言うまでもなく、バルファキスが、ユニバーサル・ベーシック・ディビデンドとよぶ、所得保障（ベーシックインカム）である。

私たちは、どこから来て、そしてどこへ行くのか？
現在の危機の時代に必ず読すべき作品である。



77.3FM 火曜 19:00 ~

喋る人=田中悠斗、佐藤里奈、伊東由晃、小浜佳凜、桜井脩弥



ホームページ
tochigivnet.com

みんな崖っぷちラジオでは、あなたの側にある「人生の見えない崖っぷち」と、「崖から落ちてでも大丈夫だよ」という「た助っ人」の活動現場をリアルにお伝えします。栃木県内の縁の下の力持ちの支援団体を紹介し、病気・貧困などの「危機」と「希望」を種まきし、崖っぷちの生き方の選択肢を紹介する番組です。

【2021/6/16】小浜佳凜（ラジオ学生）+ 矢野（コメントおじさん）

定住外国人の医療不平等。 「命の沙汰もカネ次第、 在留資格次第」という現実



（た助っ人さん）**荻津守さん**（元医療ソーシャルワーカー / 宇都宮）

「名古屋の入国管理施設でスリランカ人女性が何の治療も受けられず、病気で死んだ」ことがニュースになった。そんなこともあり6月15日のゲストは長年・済生会宇都宮病院の医療ソーシャルワーカーだった荻津守さんを招いて「外国人の医療」の話聞いた。

●外国人は医療費を増額される

「日本の医療を使う外国人には、大きく3つタイプがある」という。①インバウンド（日本にくる外国人観光客）②医療ツーリズム（日本の高度な医療を求めて来日）、③定住外国人（日本に住んで生活する人）の3つだ。

いま「定住外国人にとって医療ツーリズムが大きな問題になっているんです」と荻津さん。医療ツーリズムの多くは富裕層。だから病院が診療報酬を（通常の300%等に）上げてへっちゃらで、病院側も儲かる。高額な医療費も富裕層なので来日への足かせにならない。しかし一方で医療ツーリズムの値段が「外国人医療の相場」となってしまうと定住外国人はたまったものではない。例えば工場・農場・コンビニで働く外国人労働者（技能実習生、留学生…）は、非正規・バイトも含む低賃金を貯めて本国に借金返済し、実家に送りつけて働いている。こうした人たちにとっても、外国人医療の相場の高騰は同一に襲ってくるのだ。

医療ツーリズムがなくても、そもそも外

国人には診療報酬が高い。「（健康保険がない）外国人は医療費を増額して請求する」と決めている病院もそこそこある。理由は、外国人の診療は「言語の壁」で手間かかるから。さらにトラブルを避けるために診療報酬を上げて「そもそも外国人が病院に来ないようにしている」例もある。めんどくさい人は来なくていいということなのだ。

問題なのはこんな病院を受診すると、①②③も“外国人”と一括りにされ、定住外国人も高額な医療費を請求されるという。これは不公平だろう。

改善策は「医療従事者にこの事実を知ってもらうこと」と荻津さんは言う。医師たちは、診察室に来た患者を診察することが仕事、だから外国人と会うのは病院の医療事務の人なのだ。事務方が外国人を拒んでしまえば、診察室に入ってこないで、外国人が困っていることが医師はわからない。実は医療業界にすら外国人の医療問題は知られていないと荻津さん。

話を聞いて、私（小浜）はこの問題を知る人が増え、「日本で医療を受ける外国人」がどんな人なのか、どんな対策をすればいいのか議論するきっかけが早く作られてほしいと思った。

●「非正規滞在」の外国人。医療なし、普通の生活もできない！

日本に住む外国人の中でも非正規滞在者は「働くことが禁止」されている。就労で

きないので当然、健康保険に入れない。だから病院受診には医療費を100%払わなくてはならない。必然的に市販薬で我慢するなど「お金がかかる医療は使わない」ことになる。

冒頭の、入管施設で死亡した人については、「在留資格との関係がある」と荻津さん。在留資格と健康保険証の関係を教えてもらった。外国人の日本滞在には、必ず在留資格が必要で「就労ビザ」の人、「特定技能制度」での労働者、留学生、配偶者が日本人・・・等々の数十種類の在留資格がある。この人たちが「正規滞在」。正規滞在者は健康保険に加入できる。

しかし、外国人が「何らかの理由で在留資格がない状態になったとき」に非正規滞在となる。オーバーステイの人や、難民申請中の人、仮放免（※）された人などが、これらの人は、全員、就業制限があるうえ、健康保険にも入れず厳しい条件が山ほど課せられている。

「入管施設に収容されたり、仮放免された非正規滞在者のうち、何らかの形で帰国している人はいるが、どうしても帰国を拒んでやむを得ず不法滞在する人も出てくる。国に戻りたくないのは、本国政府やマフィア（やくざ）から追われていて、帰国すれば自分の身が危険（＝難民）だったり、出稼ぎで母国で待っている家族のために帰れないなど、人それぞれある。

このような「母国に帰れない人」を日本は“非正規滞在”者として厳しすぎる制限を設け、基本的な生活すらできない環境に陥れている。厳しい制限とは、働くのは禁止、給付金や食料の援助はなし。住居の指定（登録）も必須、行動範囲の指定。さらに定期的な出入国在留管理庁の関連施設（以下：入管施設）への出頭義務も課される。

—管理しながら、働くな、金も食もはやらない。なんて非人道的なことか、と私は思った。

●「日本は豊かで裕福な国だが、心は貧しい」。人権保障を！！

まとめると、非正規滞在者は「就業はできないが、住居の指定が必須なため、家賃を払わなくてはならない。食料も自分で調達しなくてはならない」という矛盾ばかりの生活を強いられるため、ギリギリの状態にならない限りは医療にかけのお金など到底ないのだ。

私は上記で「外国人が日本で医療を受け

られる、議論のきっかけ…」と述べたが、荻津さんの言う非正規滞在者の虐げられた状況を踏まえると、医療体制も含めた、外国人の生活保障や人権保証を早急にすべきと考えた。

ラジオの最後に荻津さんが、マザーテレサが来日した時に残した言葉「日本はとても豊かで裕福な国だが、日本人の心は貧しい」と紹介してくれた。その通りだと思った。

外国人の医療問題を解決するために私たちが直接何かできるわけではないかもしれな

い。しかし、この問題を知ることで日本人が「外国人を温かく受け入れる心・姿勢」を持つことができる。そして、その空気を作るだけでも、日本の制度・社会を動かせるはずだ。「他人」や「よそ者」、「外堀」には触れないという貧しい心を捨て、手を差し伸べる人が増えることを願うし自分もそんな人になりたいと思う。(小浜)

※仮放免…「収容命令」または「退去強制命令」で入管施設に収容されている外国人を、請求や職権で一時的に入管施設から出所させる制度。

【2021/7/18】田中悠斗・伊東由晃（ラジオ学生）

「コロナが収束する未来を見たい人は、ぜひワクチンを打って」

(た助っ人さん) ●趙達来さん（真岡西部クリニック・院長）

今回のゲストは、真岡西部クリニック院長の趙達来さん。内科の外来と在宅医療のほか、最近では新型コロナウイルスの診療、ワクチン診療も行っている。今回のラジオでは、コロナウイルスに関する質問への回答とワクチンの重要性について話をしていた。

◇コロナで作業量3倍！多忙を極める趙先生の仕事

趙先生は現在、新型コロナウイルス診療をメインに活動している。それに加え、従来の仕事である在宅医療、ワクチン接種の仕事も増え、多忙を極める趙先生は「体が3つ欲しい」と言っていた。

そんな趙先生はこのワクチンを「強力でリーズナブルなワクチン」と評価する。事実、医療従事者へのワクチン接種が終了したあとは、医療施設や介護施設でのクラスターは全国でも減少傾向にある。依然として問題なのは学校や飲食店関係のクラスターだ。感染力の強い変異株も出た今、感染拡大を阻止するにはワクチンの接種が世に行き渡ることが必要不可欠である。

◇ワクチン接種で期待できるのは重症化の抑制

現在世に出ている新型コロナウイルス用のワクチンは「メッセージRNAワクチン」という種類のもの。「ワクチンの革命」とも呼ばれている一方で、人類がこの種類のワクチンを使うのは初めてであるため、世間では遺伝子組み換えの問題や不妊の問題など様々なデマが語られている。「もともと癌ワクチンとして開発されていたものを切り替える形で誕生したもの

なので、優秀なワクチンであることに変わりはない」と趙先生は言う。

ワクチン接種により期待できる効果は、重症化の抑制。感染を阻止することはできなくても、感染力を弱め人間の免疫システムで抗体をつくる時間稼ぎができる。ワクチン自体強力なものなので副作用が強く出ることもある。個人差はあるが、打った次の日は必ず安静にすることが大切だ。

◇これまで以上に油断できない「変異株」

新型コロナウイルスの種類は「RNAウイルス」というものだ。この種類のウイルスは増殖するときに変異しやすい特徴がある。人間の体の中で増殖しているうちにより効率よく増殖しやすいように、つまりウイルスにとって都合がいいようにどんどん変異していくものが「変異

株」と呼ばれる。

変異株のポイントは、上記の「細胞にくっつきやすくなること」と、発症した時のウイルス量が多いことによる「増殖のスピードの速さ」だ。ウイルスは細胞の中で増殖すると、その細胞を壊してしまう。ウイルス量が多くなれば壊れる細胞の数が多くなる。

変異株による若者の重症化も増え、コロナウイルスはこれまで以上に油断できないものになっている。

◇ワクチンに勝る解決策がない今、できることは接種！

コロナ禍以前の生活に戻るためにも、感染を避けるための行動抑制は必要。一人一人が行動変容することで、結果的に自身が守られることになる。我慢をすれば、生活が壊されなくて済むのだ。趙さんは最後に「副反応などのリスクはありますが、ワクチンに勝る解決策がないため、全世界で今ワクチン接種が進んでいます。コロナが収束する未来を見たい人は、ぜひワクチンを打ってほしい。私も一生懸命頑張ります。皆さんと一緒にアフターコロナの世界を見たいと思います」と、熱意あるメッセージを聞いている人たちに送ってくれた。(たなか)

【2021/7/13】佐藤里奈（ラジオ学生）+ 徳山（コメントおじさん）

「私たちがやっていることは0じゃない、1なんだ」。1の積み重ねで社会に変化を。

(た助っ人さん) ●高沢友佳里さん（FBあしかが）

●「今日食べるものがお米1合しかない」で、決心がついた

7月13日のみんながけっぷちラジオはフードバンクあしかが（以下、FBあしかが）の高沢友佳里さんに活動で見えてきたことや「利用者の根本的な問題」についてお聞きしました。

FBあしかがの前身は、子どもの居場所が運営する「こども食堂」だった。家に一人である子どもたちに手作りの栄養バランスのとれた食事を提供するところである。そこへ1本の電話があった。「今日食べるものがお米1合しかないんです」と。こども食堂スタッフの一人が食堂にあった日持ちする食品や家庭菜園でとれた野菜をかき集め、お宅に届けとちぎVネット・とちコミSDGs通信 vol.249 11



た。この出来事をきっかけに1年前の6月フードバンクを立ち上げた。ちょうどコロナの影響で生活困窮者が増えていた頃だ。高沢さんたち仲間3人で、とにかく開始だ！

●波紋のように広がる「たすけあい」

まず高沢さんたちはFBの活動や「どんな手助けができるのか」ということを書いたリーフレットを作成し、足利市の児童家庭課、こども課、社会福祉課、さらには民生委員などへ配布して「食べ物に困っている人へつないでほしい」とお願いした。

すると次第に「支援してほしい」と依頼が入るようになった。食品集めはイベント会場や「こども食堂」脇でフードドライブを開催して食品の寄付を求めたり、地域のコンビニやパン屋さんから販路に乗らない食品を寄贈いただいた。東京など遠方の人からはAmazonのほしいものリストを通じて食品を寄付いただくこともあるそうだ。

食品の支援先は生活に困っている家庭や一

人暮らし高齢者、DVの一時避難場所等の福祉施設など様々。また「支援したい」という人も集まってきて、立ち上げ当初3人だったメンバーが、今は7人にまで増えた。

コメントおじさん(のぼさん)は「FBあしかがは、まるで20年くらいやってそうなベテランFBみたいだよ」と活動の幅やつながりの広さに驚いていた。

●「制度の枠」から外れ、長引く支援…どうする？

活動を通して見えてきた課題は、と聞くと「それを語るには2時間はかかっちゃいますね」と額を押さえ悩ましげな表情。

FBあしかがは「生活困窮者の自立支援の緊急措置」という立ち位置で、支援期間も1か月と決めているそうだ。食べ物の心配がない期間を設けることで本人の根本的な問題解決を促すためである。例えば「生活保護を受ける」、行政の決めた枠組みの中で「使える制度を利用する」などだ。

しかし障害や病気など個人の努力ではどう

にもならない問題や、行政の枠だけでは根本的な問題解決に至らないことも多く、結果的にFBの支援が長引くことも多い。

長期FB利用者問題について、コメントおじさん(のぼさん)は「当事者と1対1の対話を積み重ねて改善に向かうように促すことがいいんじゃないか」と語った。(ちなみに、のぼさんはFBうつのみやで活動10年)。

「制度の範囲を外れた人はわりといて、そこを私たちFBやホームレス支援団体などのNPOが受け皿になって、当人が受けられる制度と一緒に探したり、別の方法を模索してみることが多い」と続けた。

FBあしかがの悩みは他のFBでも感じていて、その支援の方法は「一緒に悩む」「人生につき合う」ということなのかもと思った。

「私たちがやっていることは0じゃない。1なんだ」がFBあしかがの合言葉。私はFBの活動から見えてきた根深い課題に対する解決策や答えがまだ見つけられないが、彼女たちの「1」の積み重ねが今の社会に変化をもたらす予感がしている。(甘くない佐藤)

【2021/8/3】伊東由晃(ラジオ社会人)+中野(コメントおじさん)

宇都宮の子3割が「関係性の貧困」。人のつながりが薄い家庭

(た助っ人さん) 吉川未知さん(ふらっと☆たからぎ/宇都宮)

報告



●地域に応える活動をしよう！宇都宮市の新事業を受託

8月3日のみんながけっぷちラジオ、助けっ人さんは「ふらっと☆たからぎ」の吉川未知さん。ワーカーズコープ(日本労働者協同組合連合会)にいて、地域に応える活動をしよう！と思っていた吉川さんは、ふと目にした下野新聞の連載「子どもの貧困」の記事に興味を抱いた。折り返し、宇都宮市の「親と子どもの居場所事業」実施事業者の公募がされていた。ワーカーズとして応募し、採択され事業を受託。2020年9月から「ふらっと☆たからぎ」を開始した。

●自己肯定感が低い「関係性の貧困」の子

「関係性の貧困」という言葉がある。経済的貧困とは異なって、生活習慣が乱れている、周りに尊敬できる人がいない、相談できる人がいないなど、「教育・経験・人とのつながりに恵まれていない状態」のことをいう。「関係性の貧困」にある子どもは、自分に自信がない、将来に希望を持ってない、後ろ向きな思考になりや

すい傾向がある。宇都宮市の調査では、市内で11.8%の子どもが経済的貧困の状態にあり、また、全体の約3分の1(33%)の子どもが「関係性の貧困」の状態にある。(子どもと子育て家庭等に関する生活実態調査/2018宇都宮市子ども未来課)

●近所の駆け込み寺としての居場所

宇都宮市の子どもの貧困対策プロジェクトのテストモデルとしてスタートした「ふらっと☆たからぎ」。現在は継続的な利用者が定着し、登録14家族(平均利用者は15人ほど)になった。運営を続けていく中で「関係性の貧困」があることを深く認識するようになった。最初は、家庭の話を中心にしなかったひとり親家庭の母親が、ぼつりぼつりと悩みを打ち明けてくれるようになった。

吉川さん自身も3人の育児の真っ最中で、子育ての困りごとがあった時の駆け込み寺としての「地域の居場所」は大事だと改めて認識したと言う。

●対等・平ら+ふらっと寄れる、から命名

吉川さんは「同じ立場、当事者として関わることが大切」という。また、そのように心がけている。支援する側・される側にはいけない」とも言う。名前にも2つの意味を込めた。「flat=平ら」であること、平坦で、利用者と対等な関係を築きたいこと。そして「フラットと立ち寄れる居場所」。

週3回、月・水・金の15:00~20:00に新里街道と宮環の交差点近く(細谷町324-10)で実施中。子育てで悩んでいる方は「フラット」立ち寄ってみてはどうだろうか。

◆◆

関係性の貧困は、貧困の連鎖(貧困が親世代から子世代に連鎖すること)にも大きく関係しており、また、解決が非常に難しいという。日々、困窮家族とかかわるフードバンク活動をする中で肌で感じている問題だ。「支援する側とされる側になってはいけない」という吉川さんの言葉。フードバンク利用者にそう思わせてしまった時点で関係性には大きな壁ができてしまう。常に意識しながら相談対応したいと思う。(伊東)

第2日曜・11-12時
次世代に伝える
原発避難
10年目ラジオ



2021/07/14 櫻井脩弥 (ラジオ学生:福島三春町出身 ●コーディネーター:北村雅:双葉町)

原発避難者が若者に伝えること… 「万が一の時を想像して」「優しさ持って」



今から10年前の2011年。東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故の影響で、故郷での生活を手放さざるを得なかった人は、9万7140人。うち福島県外に出た人は4万2959人になる。原発避難者10年目ラジオ 6月のゲスト志賀仁(ひとし)さんは原発のある双葉町(ふたばまち)から避難を強いられた。やるせない気持ちでいっぱいだったが、避難のなかで、人の優しさやありがたさに助けられる瞬間がいくつもあったという。

る姿勢がすごいと思った。

○避難先のおばあちゃんたちの手作りおにぎり

震災2日目(3/12)の夜、15km先の浪江町津島地区まで渋滞で数時間かけて避難した志賀さん。近所のスーパーの棚にはお菓子がわずか2、3袋だけ。前日からまともに食べていない志賀さん家族6人は「空腹を抱えて、お菓子だけの夕飯だった」という。

○「いわきナンバー」を察して、ガソリン満タンにしてくれたお兄さん

避難所生活の最中に、宇都宮の義理の妹が「うちのアパートにこない？」と連絡をくれた。志賀さん家族は3/18の夜に川俣所から宇都宮に向かった。

車中泊で目覚めた翌朝、近所でおばあちゃんたちが沿岸部からの避難者のためにおにぎりを握ってくれていた。「本当にありがたかった」と志賀さんはいう。「…しかし」とつけ加えて、「後でこの津島地区も放射線量が高く避難指示地区になった」と志賀さん。

栃木県に入るとガソリンがなくなってきた。途中のガソリンスタンド(GS)はどこも長蛇の列。しかも1台10しか入れてくれない。そうやって何度も給油して福島から一般道国道4号線を150km来た。宇都宮のとあるGSで、若い男性店員が車の「いわきナンバー」を見て、志賀さんたちが福島から避難してきたことを察知し、ガソリンを満タンにしてくれた。「すごく助かった」と話す。

「あそこは、双葉町と同じく今も帰還困難地区だよ。あのおばあちゃんたちは今頃どこにどうしているんだろうね…」と。

○若者に伝えたい…「未だに苦しんでいる人はごまんといるよ」

志賀さんに震災当時を振り返って「私のような若者に、ズバリ伝えたいことは何ですか」と聞いた。

○「もしよかったら、家のお風呂使って」

3月14日から18日までの5日間、志賀さん一家は、福島県浪江町(なみえまち)の避難所で一時避難していた。3月上旬。寒さが残る避難所ではストーブが2つしかない。不自由な避難所生活に苛まれるなか、仕事先のお客さんが避難所に志賀さんを訪ねてきてくれた。「もしよかったら、私の家に来て、お風呂使ってください」と。翌日6人で訪ねると、昼間は勤めに出ているので「書き置き」があり、お風呂、衣服、食べ物、ご自由に、と書いてあった。「ありがたい申し出に感謝しかない」と志賀さん。

「万が一、自分が困った時のことを想像して優しさを持って人と接してほしい。必ずその報いが返ってくるから」と話していた。「10年の時が経って、原発避難の問題はメディアでも取り上げられなくなったよね。しかし、未だに苦しんでいる人はごまんといるよ」と。

私(櫻井)は「お客さんは仕事上での関係だけ」というイメージがあったが、いざという時には立場は関係なく人を助けようと思え

そのことを知ったうえで、私たちのような若者が原発避難の問題にもう一度正面から向き合い、「優しさを持って人と接する」姿勢を持つことで、「解決されないまま足踏みしている今の状況」から一歩ずつ前に進むことができるのかなと思った。(櫻井)

2021/07/30
子どもの元へVレンジャー
ー出動！子ども食堂
行ってみた報告①
多世代が集う場所
「宮っこ元気食堂」



私たちは子供たちとおはじきで遊びました。実はおはじきで遊んだのは初めて(記憶がないだ

子どもたちとお話したり、遊んだりするボランティアを募集中です。興味のある方はVレンジャー、または↓へご連絡してみてくださいね。

●7/12に、まふいんとけろちゃんて松が峰協会の近くにある『宮っこ元気食堂』に行ってきました。今日はお弁当配布の日でたくさんの方が来てました！1階はお弁当配布、2階は子どもたちが学習をしたり遊んだりできるスペースがあります。

けかもしれないが…)。子どもたちに教えてもらいながら、ワイワイ楽しみました。

みんな元気いっぱいパワーをもらってきました。高校生・大学生・お母さんお父さん世代・ベテランさんなど、地域のいろいろな方が集まる素敵な場所。食堂の皆さんありがとうございました！

- 宮っこ元気食堂
- ◎宇都宮市宮園町8-8(松が峰教会向い)
- ◎第2・4月曜16:30-19:30
- 費用 中学生以下無料/高校生以上200円以上 ※なるべく事前にご予約下さい
- 問 miyakkokenki88@gmail.com

とちコミ通信

とちぎコミュニティ基金



寄付募集

子どもSUNSLINプロジェクト
エネルギーがあれば、子どもは輝ける!
 14,010,875円
 (寄付額: 2017-2019/5)



3か月毎に助成。
 募金は2022/3/まで。
 7,644,041円
 (4/30現在)



NEW! 2021 佐賀水害 応援募金

コロナで活動がすすまない! 8/15の佐賀・武雄市の水害。「おもやいボランティアセンター」に寄付します。2年前の水害からやっと、立て直してきたのに…。



<https://www.facebook.com/omoyaivc/>



ふるさと 栃木への遺贈(遺言による寄付)のご案内

人生最後の社会貢献
 お世話になったひと、まちへの恩返し
 未来へ希望をつなぐ贈り物。
 あなたにできる“ふるさと栃木への貢献”

遺言書をつくり、遺産を特定の人に贈ったり寄付したりすることを「遺贈」といいます。「人生最後の自己実現」、「お世話になったひと、まちへの恩返し」、「未来へつなぐ贈り物」など、遺贈は静かな拡がりを見せています。当基金にお寄せいただくご相談も徐々に増えています。

当基金は、個人や企業の善意の形である寄付を集め、地域社会の課題を解決する市民活動(ボランティア・NPO・住民組織)に効果的につなげていく「意志あるお金」のコーディネートを、専門業務として行っています。

私たちのノウハウや専門家とのネットワークを活かし、弁護士、税理士、社会福祉士などの専門機関と連携することで、遺産を地域社会のために有効に活用する相談窓口となるコーディネートをしています。

当基金への直接の遺贈寄付や、当基金を通じた県内地域活動団体を対象とした遺贈寄付は、あなた自身のご希望や意志を明確に反映するだけでなく、遺贈していただいた遺産分は課税対象とはならず非課税扱いとなるため、遺産の受取人である相続者にも相続税がかかります。ご本人ではなく、ご遺族のご希望により相続財産からご寄付をされる場合も、当基金では広く「遺贈寄付」としてとらえ、ご相談をお受けしております。

【ご遺贈の例 / 生前贈与の例】

◆たかはら子ども未来基金(生前贈与)

県北で長年地域医療を支えてきたご夫妻。「私たちがこれまで仕事をできたのも、地域にお世話になったおかげ」と、2017年から10年間にわたってご寄付(生前贈与)いただいております。

ご夫妻の思いは「未来へつなぐ」。そのためご寄付を「たかはら子ども未来基金」名づけ、県北を中心に子ども・若者を育てるインターンシップ・プログラムとして、学生・NPO双方を支援する助成金です。全国でも珍しい大変ユニークな助成事業です。



「遺産や相続財産を寄付したいが、最適な寄付先が分からない」「自分の遺産を活用してほしいが、何をすればよいか分からない」

「遺産をビジネスを行政で活用するのではなく、地域活動などの目に見える形で活用してほしい」・・・

などのご意志をお持ちの方は、ぜひ、「とちぎコミュニティ基金」までご相談ください。

※ここで言う遺産の活用とは、ご自身の財産の生前贈与や遺言による贈与、相続財産の活用を言い、現金だけでなく、土地建物などの不動産も含まれます。

■とちぎコミュニティ基金

(認定NPO法人とちぎVネット内)

電話 028-622-0021 info@tochigivnet.jp

■全国レガシーギフト協会 (いぞう寄付の全国相談窓口)

URL: <https://izoukifu.jp/>

遺贈寄付をお考えのみなさまと無料で相談できる全国の窓口をつなぐポータルサイトです。遺贈に関するQ&A集や遺言文例の選択ツールなど、遺贈に関するサポートがさまざま用意されています。

助成 します



子ども SUNSUN プロジェクト助成 募集要項 (9/30 まで)

(2019・2020 年度の募金による助成金)

1 趣旨

長期的な経済不況とコロナ禍が進む中で貧困問題が増え続けています。その影響を最も受けるのは、子どもたちやシングルマザーなど社会的弱者です。中でも特に増加している「貧困や孤立状態にいる子どもたち」を救うために、とちぎコミュニティ基金

を中心に、栃木県内の様々な団体や企業・個人が集まってスタートしたのが「子ども SUNSUN プロジェクト」です。助成活動として寄付イベントで集めた志金を助成します。

2 募集期間 (追加募集)

2021 年 9 月 30 日 (木) まで

3 助成先団体の募集

(1) 対象となる活動

- ア 子どもの生活と子育てを支援するための活動
- イ 生活困難者 (児) を支援するための活動
- ウ 生理的貧困などを支援するための活動
- エ 孤立などを支援するための活動
- オ 外国籍の児童を支援するための活動
- カ 子ども食堂や居場所の開設準備や運営費の補助等
- キ その他地域福祉や児童福祉を推進するための活動等

(2) 助成総額：150 万円 (1 団体 5 ～ 20 万円)

※ 審査で希望金額を減額することもあります。

(3) 助成時期：2021 年 11 月末頃とします。

4 応募方法

- (1) 申請：助成金申請書を事務局へ提出。
- (2) 審査方法：プロジェクトの配分委員会で審査
- (3) 審査の決定 2021 年 10 月
- (4) 助成決定団体の義務

ア 本事業により知り得た個人情報、適切に管理すること。

イ 2022 年度総会で活動内容を発表すること。

ウ プロジェクトで必要と判断した場合は、活動内容等についての調査を受けること。

5 問合せ：とちぎコミュニティ基金 (認定 NPO 法人 とちぎボランティアネットワーク内)

〒320-0027 宇都宮市埜田 2-5-1 共生ビル 3F

TEL 028-622-0021 FAX 028-623-6036

E-mail info@tochiginet.jp

ありがとう

コロナ支え合い基金

助成先団体

最新 NEWS

② 2021/6/24 トチギ環境未来基地

身近な「里山プレーパーク」 27 回、272 人の子が参加！

●里山プレーパーク、4 か所を整備

子どもたちにとって遊ぶことは生きることです。

地域の里山を整備し、子どもが自由に楽しく安全に遊べる里山プレーパークを身近な地域に増やしていきます。現在 4 か所の整備が進みました。引き続き新たなフィールドづくりも行っていきます。整備ができた里山で子どもたちや親子向けのリフレッシュプログラムも定期的実施していきます。

3 月の休校が始まったころから、対策をしながら子どもの遊びの企画を実施し、4 月から 5 月にかけては、臨時休校の長期化で、子どもたちの預かり先がなく困っている保護者の方を、子どもたちを森でお預かりすることによりサポートしました。その後、公園で遊べないなど、子どもたちの外遊びの場所、機会も大きく失われていることも課題として認識し、少数のグループで自由に遊べる里山プログラムとして展開を

していきました。これまでに 27 回、のべ 272 人の子どもが参加しました。

子ども支援団体とも連携し、体験の機会の少ない子どもたちにも参加してもらえる機会をつくってきました。

●森でタケノコ探し、焚火、滑り台…

宇都宮市内の、キッズハウス・いろどりを利用する子どもたちに向けた森でリフレッシュプログラムを実施しました。この日は茂木町の竹林に行き、タケノコを探しながら、焚火をしたり、竹の滑り台で遊んだりしました。途中、雨が降ってきました。みんなで工夫してブルーシートのテントをつくって雨をしのぎました。しばらくすると雨がやんで、地元の人が遊びにきてくれた「これでも食べてー」。おいしい焼き芋と大学イモをいただきました。遊びまわっておなかすいていた子どもたちは大喜びで食べていました。帰り際に子どもの一人が、「また遊びに来るから、イモお願いしますね」といって、笑いあっていました。



●支援呼びかけメッセージ

子どもたちにとって遊ぶことは生きること。週に 1 日でも思いっきり自然の中で遊んでリフレッシュできれば体も気持ちも元気になるはず。そんな里山をゆくゆくは子どもたちが自転車で行ける場所に。特に宇都宮市内で、子どもたちのために使っていいよっていう里山も募集しています。ご連絡ください。

トチギ環境未来基地への寄付

(2020 年 4 月から現在)

363,912 円

ありがとうございます。
目標金額：1,250,000 円！
よろしくおねがいします。



「コロナで最悪、売上95%減！でも、社会で必要なのは、それだけじゃないんですよ」

コロナ禍、会社もあるが、12-18歳の“子どもだけのライオンズクラブ”を立ち上げ、若者と「SDGs:人や国の不平等なくそう」にも取り組む。一本当は、この駐車場に子ども食堂作りたいんですよーめげない社長

● 埴尚恵さん

(株)はやぶさ交通・代表取締役



「コロナで最悪、売上95%減！だけでなく、社会で必要なことは」

「地域の子供バレーボールチームに『台風の水害ボランティアあるよ』と誘った。子ども版だ。月2回の例会もあるらしい。」

『宇都宮中央LEOクラブ』という子どもだけのライオンズクラブでSDGsに取り組んでます。子どものライオンズクラブって、県内では初。全国にもほとんどないみたいですね。入れるのは12歳〜18歳まで。というの、(株)はやぶさ交通の埴尚恵さん。

子どもたちでSDGs「人や国の不平等なくそう」に取り組む

「ふつう社長さんたちは地元のライオンズクラブやロータリークラブという企業の友愛チャリティ団体に入っているが、その子ども版だ。月2回の例会もあるらしい。」

「それだけじゃないんですよ」と全くめげない。「自社もたいへんだったけどコロナで失業者が増え、フードバンクに食品ない、という新聞記事を見て『きずなBOX』を昨年10月に置いたかな。(ある意味、ヒマだったし)以前から関わる地域のバレーボールクラブの子どもたちにも、台風19号の時に水害のボランティアあるよと言ったら『自分たちも何かやりたい』と反応が返ってきて田川の清掃活動やって気づいたのは、自分たちにもできるボランティアがあるーってこと。そして12月、サントラクリン大作戦に出てゴミ拾い。」

気になるこの人 57 SDGs社長編

「いや、動いてないと死んじゃうマグロですね」と。(也)

「その埴さんの元気はどこから来てるんですかと聞くと『小学校の学童保育・子どもの家とか、PTAやっていると気づくんですよ。問題の多い家があることに』。特にひとり親(母子・父子家庭)が大変だ、つてね。でも一緒にできる時期は限られて、子どもが進学したらその家の親子の応援はできない。本当はちよつと世話焼きだけで済むことも多いという。それで『今度はこの駐車場に子ども食堂とかみんなが集まれる所を作りたいんです』とビックリ発言。企業十教員十空き店舗で20日子ども食堂を開始した例を教えたなら、すかさず『その社長紹介して』。さすがはやぶさの社長だと思っただが、同席の事務員のお姉さんは

「その埴さんの元気はどこから来てるんですかと聞くと『小学校の学童保育・子どもの家とか、PTAやっていると気づくんですよ。問題の多い家があることに』。特にひとり親(母子・父子家庭)が大変だ、つてね。でも一緒にできる時期は限られて、子どもが進学したらその家の親子の応援はできない。本当はちよつと世話焼きだけで済むことも多いという。それで『今度はこの駐車場に子ども食堂とかみんなが集まれる所を作りたいんです』とビックリ発言。企業十教員十空き店舗で20日子ども食堂を開始した例を教えたなら、すかさず『その社長紹介して』。さすがはやぶさの社長だと思っただが、同席の事務員のお姉さんは

PTAや学童で知った大変な家庭のこと

編集後記) SDGs通信 「2.飢餓」特集では、久々のルポで紙面に元気が出てきた気がする。▼「気になるこの人」も3年ぶりの復活コーナーだ。県内のSDGs社長に会ってくる企画。▼次回「3.全ての人に健康と福祉を」はどういう企画にするか? いっそ健康も命も崖っぷちにビルマ、アフガニスタンの難民と国内の外国人医療にしようか、と考えている。SDGs通信の購読者も大募集中!(や)



いつでもあなたの側にいる

「いまのSOS」に応えるときぎVネットの活動は、市民の寄付や、ボランティアの力でできています。「たすけあう栃木づくり」が合言葉。あなたも仲間になりませんか。会員には「とちコミSDGs通信」が年6回届きます。

- 会費(年間) ※賛助会員は「とちコミSDGs通信」が年6回届きます。
 - ◎賛助会員...3,000円(1口) ◎賛助会員...5,000円
 - ◎団体会員...20,000円(1口)
- 寄付 とちぎコミュニティ基金(ご寄付はこちら)
 - ◎子どもSUNSUNプロジェクト
 - ♥とちぎ夢基金・夢SDGs助成 ♥花王ハートポケットクラブ助成
 - ♥たかはら子ども未来基金 ♥がんばろう栃木!災害助成
 - ◆サントラ de ラン ◆コロナ支え合い募金 ◆チャリティウォーク

- 郵便振替
 - 口座番号/宇都宮 00360-4-38111
 - 加入者名/とちぎボランティアネットワーク
- WEBサイトから...会員、寄付の手続きできます
 - ・クレジットカードで寄付もできます。
 - ・マンスリーサポーターで月1000円からの寄付!
 - WEB tochigivnet.com
 - メール info@tochigivnet.jp

認定NPO法人 とちぎボランティアネットワーク
 ◎とちぎコミュニティ基金 ◎生活困窮者支援/フードバンク ◎災害救援
 ■〒320-0027 宇都宮市馬場 2-5-1 共生ビル3階 ■TEL 028-622-0021 ■FAX 028-623-6036
 ■9:30-19:00、定休日:日・月休み □https://www.tochigivnet.com/ □とちぎボラ 検索